

石川庁舎の跡利用案

日時：平成25年8月27日(火) 19:00~
場所：石川保健相談センター 2階ホール
参加人数：17名(事前見学会参加2名)

赤 チーム

現状分析と課題の抽出

- 駐車場が広い
 - 劇場との一体的な利用が可能
 - 宮森630の展示
 - 大きいハコモノ、広いフロアスペース
 - 平地にあり高齢者が利用しやすい
 - 風光明媚、自然が多い
 - 住宅地に近い
- ICに近く市内外からの交通アクセス抜群
 - 体育施設や文化施設(図書館、資料館)が周辺に立地
 - 産業系施設や沖縄科学技術大学院大学が周辺に立地
 - 高齢者の活動の場が不足している
 - 働く場が不足している
 - 大人数で食事ができる場所がない
 - 米統治時代の歴史が残っている
 - 沖縄本島の中心に石川が位置している

強み

チャンスとなる要因

弱み

障害や困難となる要因

- 使いづらい平面構成
- 施設が古く、改修費用がかかる
- 祭り会場として利用されていない
- 周辺施設の利用手続きが不便(本庁舎での手続きが必要)

- 生活利便施設は周辺にひと通り揃っている
- 海拔1mであり、防災性に欠ける

求められていること

- 《地域意見交換会及び地区意見交換会》
 - 今以上の雇用創出や経済効果
 - 市外からも人を呼べる施設(飲食店/商業施設/宿泊施設/娯楽施設/資料館/大学や専門学校)
 - 市民が集まり活動できる施設(公民館/学習室/子どもと高齢者の交流施設/老人福祉施設)
 - 駐車場の活用
 - 民間事業者への売却や賃貸
- 《庁舎の跡利用に関する市民アンケート》
 - 地元の雇用を生む場や市民の暮らしを便利にする場
 - 道の駅などの観光客向けの施設を期待する一方で、市民サービス機能や娯楽機能といった市民向け施設への期待も高い
- 《職員アンケート》
 - 観光施設や防災関連施設が不足していると感じているが、オフィスなどの業務施設や市民サービス機能への期待が高い

- 行政サービスは支所として残すことが必要
 - ・ 機械でのサービスでは高齢者が利用しにくい
 - ・ 地域活性化、自治会の中心
 - ・ 利用率の高い施設
- 地域の人が集い利用できる場所
 - ・ 商店街を活性化し、共存共栄できる施設
- 交通アクセスを活用し、市外の人を呼ぶ施設
 - ・ 戦中戦後の歴史を伝える資料館
 - ・ イベント会場
 - ・ 雇用創出、地域経済の発展につなげる

跡利用の方向性(コンセプト)と跡利用計画案(ゾーニング)

- ◆ コンパクトな行政サービス機能を残す
- ◆ 戦後の歴史を伝える資料館で市内外から人を呼ぶ
- ◆ 大型駐車場の完備、大規模レストランの併設
- ◆ 地域の人が集える場所

・ 観光客に地元の特産品をふるまう地産地消の大規模食堂

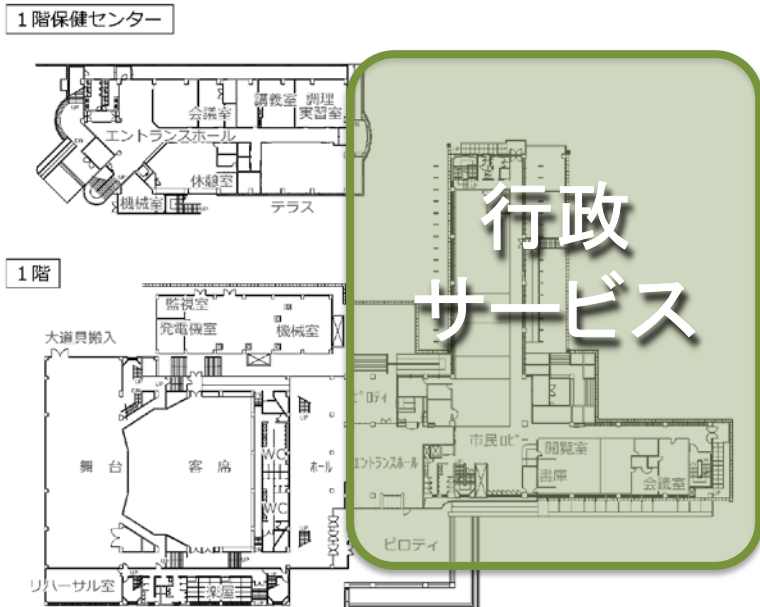
・ 海を見ながら食事



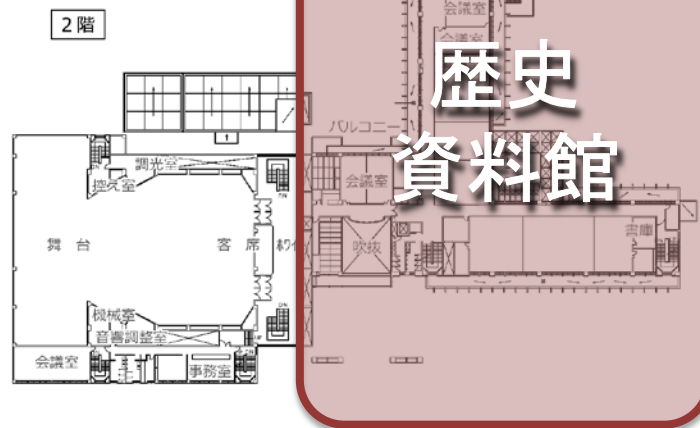
・ 金武湾を活用したエコツーリズム



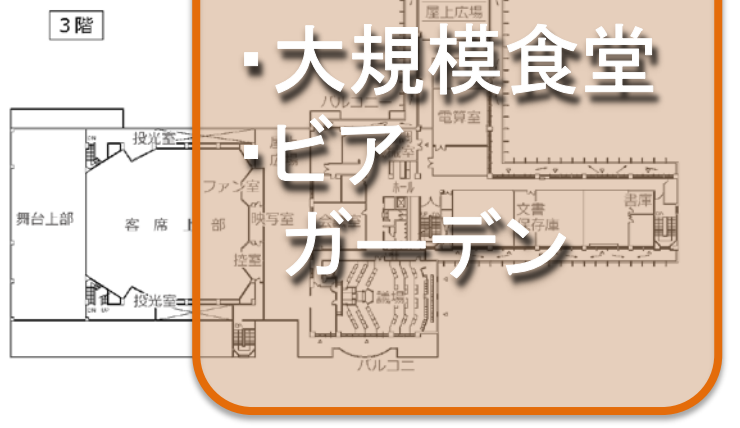
・ 平駐車場より効率性の高い立体駐車場



・ 高齢者に使いやすいよう、職員が対応してくれる必要最小限の行政サービススペース



・ 戦中戦後を伝える歴史資料館



・ 結婚式、披露宴など、冠婚葬祭で利用できる会場

